



株式会社大庄

平成31年8月期第2四半期

決算説明資料

平成31年4月19日

# 板前がいる町の酒場

時代を超えて愛される、手づくりのぬくもり



DAISYO CORPORATION



## I. 31年8月期の経営戦略及び具体的施策

## II. 31年8月期第2四半期決算の概要

1. 連結業績の内訳	8	6. 連結特別損失の内訳	14
2. 新規出店・改装店実績	9	7. 連結貸借対照表(B/S)	15
3. 都道府県別 グループ店舗数	10	8. 連結キャッシュ・フロー	16
4. 売上高	11-12	9. 関係会社の状況	17
5. 販売費及び一般管理費の内訳	13		

## III. 今後の経営計画及び具体的施策について

10. 31/8期 通期計画(連結ベース)	19
11. 31/8期 店舗計画	20
12. 31/8期 計画骨子(下半期及び通期)	21
13. 31/8期 中期計数目標(連結ベース)	22

## 1. 店舗政策

### (1) 巡航速度での店舗リストラクチャリング

- ◎ 新店15店舗、改装25店舗、閉店30店舗
- ◎ FC店舗の指導強化を進める一方、譲受(直営化)を推進
- ◎ 低投資での改装・業態転換を推進、改装期間の短縮も図っていく(余剰費用の削減)
- ◎ VC(ボランタリーチェーン)店舗への移行
- ◎ 「歌うんだ村」をメニューや価格帯の面から若者向けのカジュアルスタイルへ  
⇒ 例)「歌うんだ村横浜西口店」～飲食物持込可能スタイルのカジュアルカラオケ

### (2) 店舗運営の生産性向上への取組み

- ◎ 営業ラインのみならず全社一丸でオペレーション力強化に取り組む  
⇒ 営業部隊と本社機能部隊の合同会議の開催  
⇒ 各店の課題を明確化し、様々な視点から個別に営業戦略を作成
- ◎ ワークスケジュール管理による生産性向上を継続して図っていく

## 1. 店舗政策

### (3) 店舗業態・MDの充実化および差別化

#### ① 『庄や』『日本海庄や』を中心とするリブランディング

##### ● 4月より第一弾として『庄や』のリブランディングをスタート

⇒ 業態本来の強みを再認識し、時流に流されない安定したブランドを磨きあげる

➤ ビジョン : 板前がいる町の酒場

➤ ミッション : うまいと、ぬくもりを一人ひとりに。

⇒ 業態のあるべき姿(オペレーションや料理提供)になっているかを店舗ごとにチェックし、評価を行っていく ~店舗ごとのバラつきを無くす

⇒ 業態の特徴メニュー打出し等の広告宣伝強化による認知度アップを図る

#### ② 新業態のさらなるブランド強化

⇒ 「専門店業態」の使用食材は鮮度に一番のこだわりを

⇒ 様々なニーズに対応した業態の開発

⇒ 『横綱餃子 石田部屋』、『Cafe & Bakery MIYABI』、『三四味屋』、『しゃぶしゃぶドレミ』、『蕎麦蔵 結』

#### ③ 既存業態では「満天酒場」「築地日本海」「庄や」への業態転換推進

#### ④ 同業他社との差別化

⇒ 人の手による作りこみを重視し、技術の継承にこだわる



## 2. 新物流センターを核とした各種事業の拡大

### (1) 外部飲食店舗への「外販事業」の拡大

- ◎ 物流子会社による3PL物流機能の向上  
⇒ センター内での内部オペレーションの連携強化、および外部販路の拡大
- ◎ 水産卸売子会社の加工設備の活用による外販力の拡大

## 3. 従業員教育とモチベーションアップ策の拡充、人材確保への取組み

### (1) VC制度による独立推進

⇒モチベーションのアップを図る

### (2) 研修・教育面の取組み

- ◎ PAから部長職まで、階級やテーマ別に研修を実施
- ◎ 『調理甲子園』の開催や『調理技術検定』の運用強化による調理人の育成
- ◎ 新入社員に対する研修に加え、上長向けの「育成プログラム」を提供  
⇒ 新入社員の退職防止・成長を図る

### (3) 労働環境の整備・人材確保

- ◎ 「インセンティブ制度」他、各種制度や手当の整備・充実
- ◎ 「働き方改革」への対応  
⇒ 「長期連続休暇の取得義務化」「勤務間インターバル」・・・先駆けて運用中  
⇒ 「時間外労働規制」等をしっかりと対応していく
- ◎ 「リファラル採用」の浸透 ～ 「従業員紹介制度」

## 4. その他強化・対応施策

- ◎ インバウンド事業の強化継続
  - ⇒ 海外口コミサイトやSNSによる販促強化
  - ⇒ インバウンド需要を背景に、電子決済機能（アリペイ・ウィチャットペイ）導入への取組強化  
～ 約40店舗で導入済、さらに拡大対応していく
- ◎ 関連会社の機能強化
  - ⇒ 物流機能の強化他、各社の連結経営強化および効率化推進
- ◎ 各種法律施行・改訂への対応
  - ⇒ 消費税増税（軽減税率）、受動喫煙対応、コーポレートガバナンス等の対応
- ◎ 経営理念・企業理念の見直し
- ◎ 設立50周年に向けて…（2021年11月）





## Ⅱ.3 1年8月期第2四半期決算 の概要

# 1. 連結業績の内訳

DAISYO CORP.

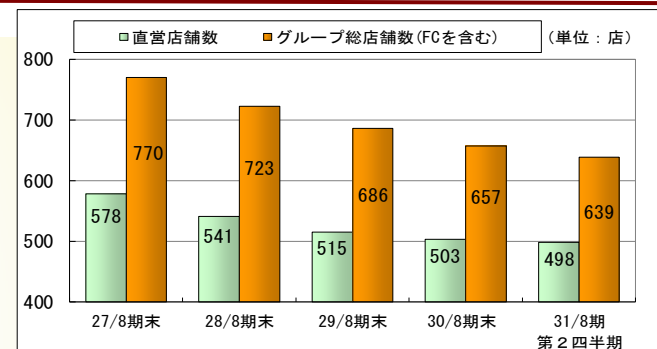
【単位：百万円】

	平成30年8月期 第2四半期実績		平成31年8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
<b>売上高</b>	30,627	100.0%	30,478	100.0%	▲149	—
売上原価	12,159	39.7%	12,505	41.0%	346	+1.3%
販売費及び一般管理費	18,387	60.0%	17,721	58.1%	▲665	▲1.9%
<b>営業利益</b>	81	0.3%	251	0.8%	169	+0.5%
営業外収益	49	0.2%	51	0.2%	1	+0.0%
営業外費用	50	0.2%	36	0.1%	▲13	▲0.1%
<b>経常利益</b>	81	0.3%	266	0.9%	185	+0.6%
特別利益	78	0.3%	26	0.1%	▲51	▲0.2%
特別損失	288	0.9%	271	0.9%	▲16	▲0.0%
<b>税引前当期純利益</b>	▲128	▲0.4%	22	0.1%	150	+0.5%
法人税等	120	0.4%	102	0.3%	▲17	▲0.1%
法人税等調整額	3	0.0%	7	0.0%	3	+0.0%
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0.0%	6	0.0%	1	+0.0%
<b>四半期純利益</b>	▲257	▲0.8%	▲94	▲0.3%	163	+0.5%



## 2. 新規出店・改装店実績

	31/8期 第2四半期
新規出店	8
店舗改装	12
閉店	13



### 業態別明細

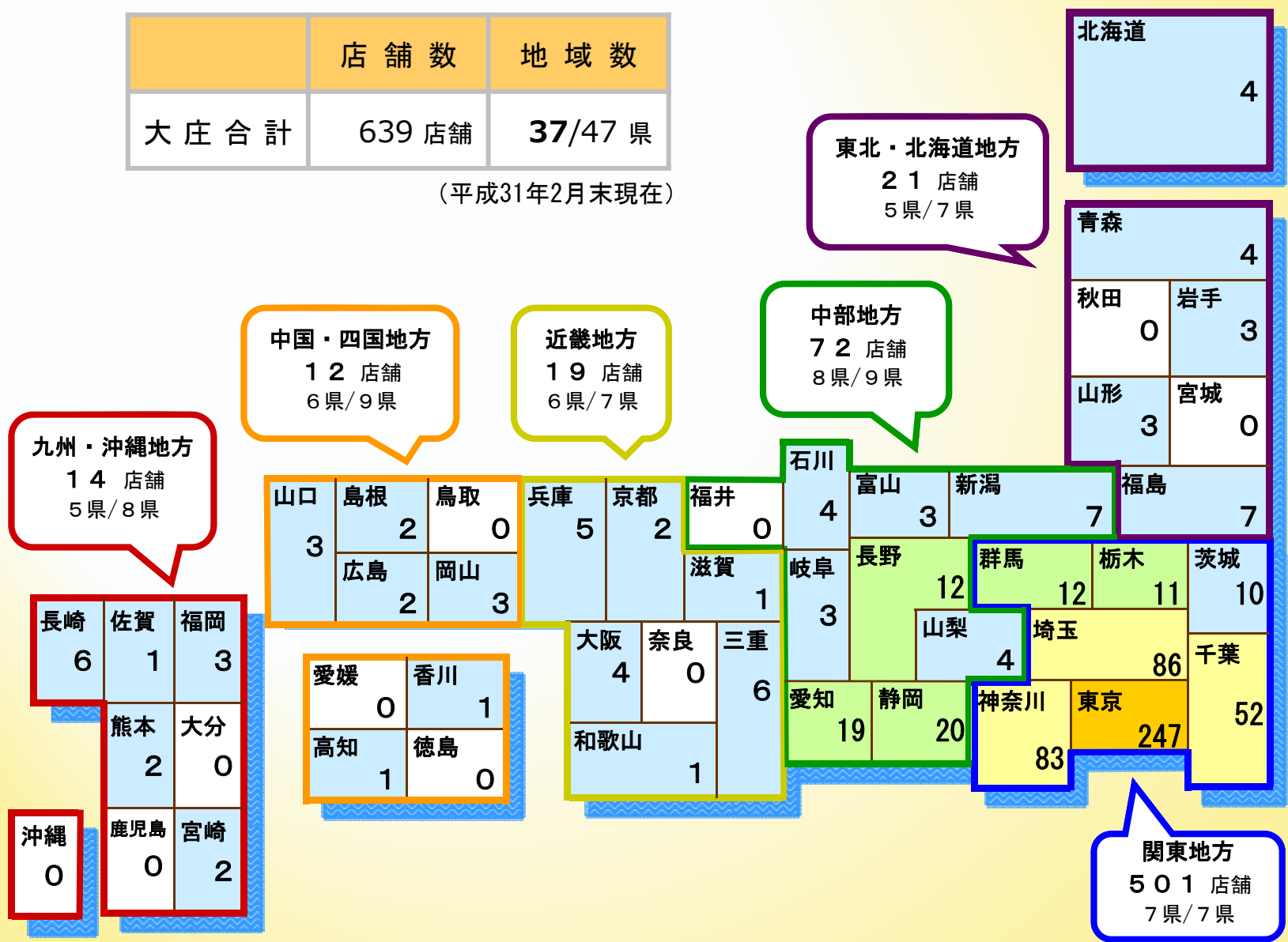
	30/8期	新規出店		改装	業態転換による改装		閉店	31/8期 第2四半期	増減
			うち 譲受		増加	減少			
庄や	167	1	1	2	1	▲1	▲2	166	▲1
日本海庄や	79						▲3	76	▲3
大庄水産	42	1				▲1		42	0
かか・ファンタジー	42						▲1	41	▲1
とり家 葱び寿	24							24	0
やるき茶屋	19					▲1	▲1	17	▲2
築地日本海	14	1			1		▲1	15	+1
RUMP CAP	13							13	0
かか・歌うんだ村	11				1	▲1	▲1	10	▲1
築地寿司岩	10							10	0
塩梅	10							10	0
呑兵衛	9							9	0
満天酒場	5	2	1		2			9	+4
羊肉酒場 悟大	9					▲1		8	▲1
もつ鍋 お多福	5							5	0
その他	44	3			5	▲5	▲4	43	▲1
大庄合計	503	8	2	2	10	▲10	▲13	498	▲5

### 3. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	639店舗	37/47県

(平成31年2月末現在)

0店舗
1~10店舗
11~30店舗
31~100店舗
101~店舗



## 4. 売上高

### (1) 既存店売上高（対前年比）

#### <前年比実績推移表>

	29/8期	30/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	31/2期 累計	3月
売上高	98.5%	98.7%	97.2%	104.6%	102.2%	98.7%	99.5%	100.3%	100.3%	98.8%
客数	97.9%	98.4%	96.1%	104.8%	101.9%	98.6%	99.6%	101.0%	100.2%	99.5%
客単価	100.6%	100.3%	101.2%	99.8%	100.3%	100.2%	99.9%	99.3%	100.1%	99.3%

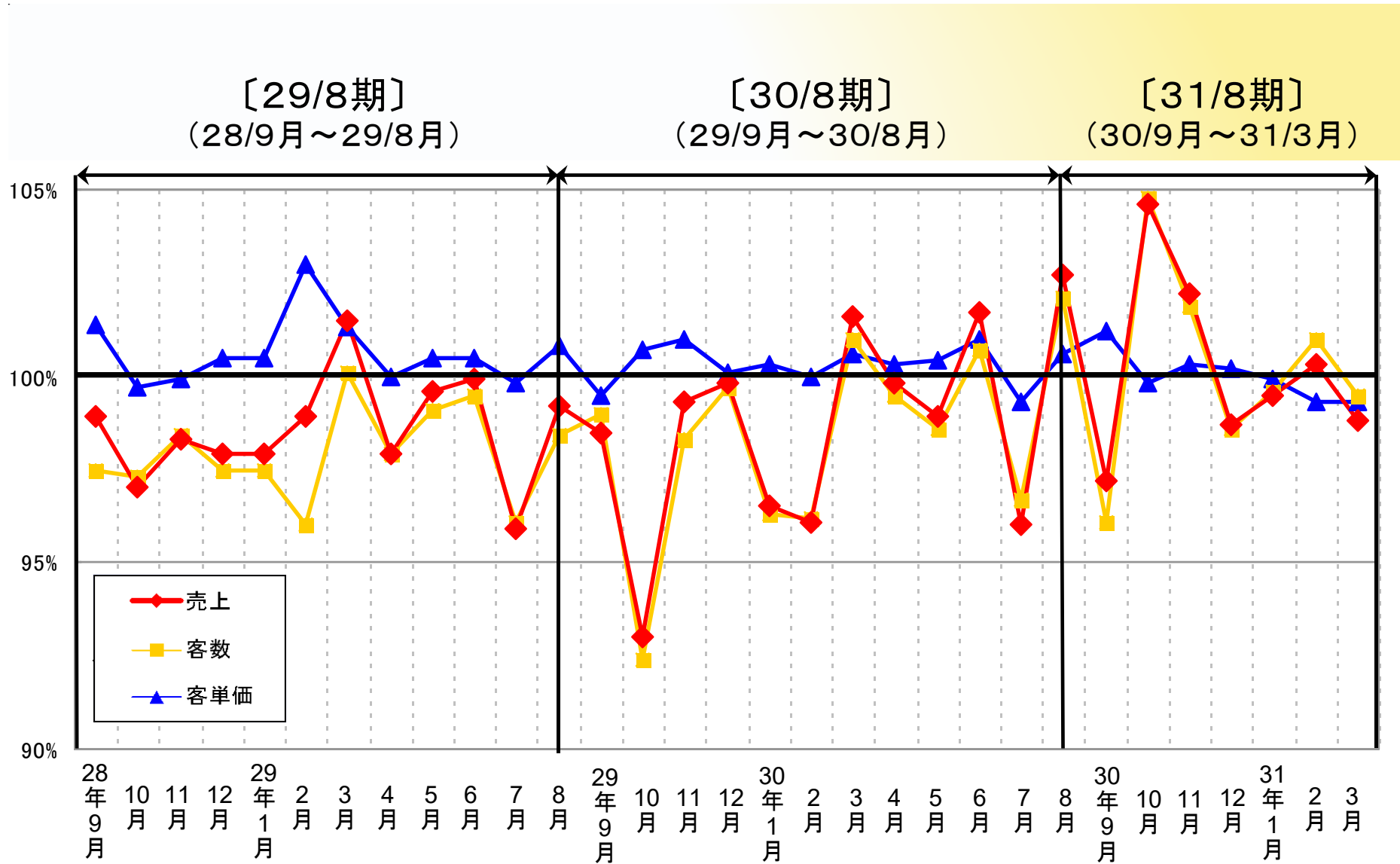
#### <カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	31/2期 累計
売上高	104.5%	101.5%	99.2%	100.3%
客数	102.4%	100.9%	98.9%	100.2%
客単価	102.1%	100.6%	100.3%	100.1%

#### <カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
29/2期累計	15.1%	13.2%	71.7%
30/2期累計	15.4%	12.3%	72.3%
31/2期累計	16.2%	12.4%	71.4%
前期増減率	+0.8%	+0.1%	▲0.9%

(2) 既存店売上高・客数・客単価の前年比月別推移表



## 5. 販売費及び一般管理費の内訳

【単位：百万円】

	平成30年8月期 第2四半期実績		平成31年8月期 第2四半期実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	10,204	33.3%	9,674	31.7%	▲530	▲1.6%
地代家賃	3,075	10.0%	3,058	10.0%	▲16	▲0.0%
水道光熱費	1,331	4.3%	1,305	4.3%	▲25	▲0.0%
減価償却費	658	2.1%	758	2.5%	100	+0.4%
消耗備品費	620	2.0%	606	2.0%	▲14	▲0.0%
販促・広宣費	473	1.5%	430	1.4%	▲43	▲0.1%
衛生費	396	1.3%	347	1.1%	▲49	▲0.2%
その他	1,627	5.3%	1,540	5.1%	▲86	▲0.2%
販売費及び一般管理費	18,387	60.0%	17,721	58.1%	▲665	▲1.9%
営業利益	81	0.3%	251	0.8%	169	+0.5%



## 6. 連結特別損失の内訳

【単位：百万円】

項目	30/8期 第2四半期	31/8期 第2四半期	増減	備考
減損損失	51	147	95	
固定資産除却損	158	107	▲50	
店舗関係整理損	31	15	▲16	
閉店損失引当金繰入額	6	0	▲6	
事業支援損	39	—	▲39	
特別損失	288	271	▲16	

## 7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	30/8期	31/8期 第2四半期	増減額
流動資産	15,736	16,622	886
現預金	12,164	13,382	1,218
売掛金	2,111	1,849	▲262
棚卸資産	702	703	1
その他	758	687	▲70
固定資産	26,757	26,372	▲384
有形固定資産	15,232	15,132	▲99
無形固定資産	1,640	1,638	▲2
敷金・保証金	9,136	8,921	▲215
繰延税金資産	321	343	21
その他	426	336	▲89
繰延資産	17	18	1
資産合計	42,511	43,013	502

	30/8期	31/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	9,597	10,618	1,021
現預金	12,164	13,382	1,218
NET有利子負債	▲2,566	▲2,763	▲197
自己資本比率	52.2%	50.8%	▲1.4%
有利子負債依存度	22.6%	24.7%	+2.1%

	30/8期	31/8期 第2四半期	増減額
負債合計	20,101	20,943	841
買掛金	2,010	1,652	▲358
未払金	2,523	2,041	▲482
借入金(長短)	8,742	9,608	866
社債	855	1,010	155
リース債務	133	98	▲35
資産除去債務(長短)	1,380	1,314	▲66
賞与引当金	404	626	222
役員退職慰労引当金	239	209	▲29
その他	3,812	4,382	569
純資産合計	22,409	22,070	▲339
株主資本	22,060	21,800	▲259
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	4,129	3,869	▲259
自己株式	▲602	▲603	▲0
その他包括利益累計額	147	67	▲80
非支配株主持分	201	201	0
負債・純資産合計	42,511	43,013	502

## 8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成30年8月期 第2四半期	平成31年8月期 第2四半期	増減額
<b>1. 営業活動CF</b>	1,152	1,552	400
税引前利益	▲128	22	150
減価償却費	674	845	170
減損損失	51	147	95
賞与引当金増減額	275	222	▲52
役員退職慰労引当金の増減額	▲75	▲29	45
その他引当金純増減額	▲12	▲77	▲65
法人税等	▲147	▲187	▲40
その他営業CF	514	610	96
<b>2. 投資活動CF</b>	▲2,286	▲1,146	1,140
有形固定資産の取得による支出	▲2,131	▲969	1,161
有形固定資産の売却による収入	13	3	▲9
敷金・保証金の差入・回収純増減額	163	177	13
その他投資CF	▲332	▲357	▲24
<b>※ フリーキャッシュ・フロー</b>	(▲1,134)	(406)	(1,541)
<b>3. 財務活動CF</b>	2,661	811	▲1,850
長短借入金の純増減額	2,035	866	▲1,169
社債の純増減額	850	152	▲697
リース債務の返済支出	▲58	▲35	22
配当金の支払額	▲164	▲165	▲1
その他財務CF	▲1	▲5	▲4
<b>5. 現金及び現金同等物の増減額</b>	1,527	1,218	▲308

## 9. 関係会社の状況


### ▶ 連結子会社

【単位：百万円】

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	31/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 大田区	90	2,131	100.0%	・豊洲市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 大田区	99	4,072	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部売上比率高く、グループ連携による一層の 拡販注力中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 飲料販売	東京都 中央区	60	278	75.0%	・自社ビルの賃貸、サブリース事業 ・グループ店舗中心に害虫防除・防鼠事業を拡大中
NISACO. HD(株)	物販事業	東京都 大田区	96	89	100.0%	・新潟県産品の仕入・加工および販売 ※海洋深層水関連事業は会社分割の上、 31年1月末付で株式譲渡
(株)ミッドワーク	業務用空調機の 洗浄・修理	千葉県 柏市	10	25	80.0%	・27年10月に連結子会社化 ・業務用エアコン洗浄及びメンテナンス業務等
(株)光寿	食器等の販売	東京都 大田区	10	94	80.0%	・30年6月に会社設立 ・食器及び調理備品類の販売

### ▶ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	31/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	833	20.0%	・当社並びにFC店舗に酒・飲料等を卸売・配送



# Ⅲ. 今後の経営計画及び具体的施策 について



# 10. 31/8期 通期計画(連結ベース)

【単位：百万円】

	30/上期 実績	31/上期 実績	増減	30/下期 実績	31/下期 計画	増減	30/8期 実績	31/8期 通期計画	増減
売上高	30,627	30,478	▲149	30,875	31,052	177	61,503	61,530	27
営業利益	81	251	170	324	554	230	406	805	399
経常利益	81	266	185	312	554	242	393	820	427
当期純利益	▲257	▲94	163	459	164	▲295	202	70	▲132

# 11. 31／8期 店舗計画

## (1) 新規出店

	31/上期 実績	31/下期 計画	31/8期 通期計画
連結	8 店舗	7 店舗	15 店舗

## (2) 改装店舗

	31/上期 実績	31/下期 計画	31/8期 通期計画
連結	12 店舗	13 店舗	25 店舗

## (3) 閉店

	31/上期 実績	31/下期 計画	31/8期 通期計画
連結	13 店舗	17 店舗	30 店舗

### (1) 設備投資

- ◆ 巡航速度での店舗リストラクチャリングとして「新店15店舗」及び「改装25店舗」を計画

### (2) 利益計画の骨子

#### ① 売上高

- 「既存店売上計画」、下期は前年比100%で策定、通期100. 2% (上期100. 3%)

#### ② 原価・販管費

- 「売上原価率」は、下期40. 5% 通期40. 8%を見込む
- 「販管费率」は、上期は前年同期比 ▲1. 9%と低下トレンドにある
  - 下期57. 7%(前比▲1. 2%)、通期57. 9%(前比▲1. 6%)を見込む
  - 人件費を中心に低減効果を見込む

#### ③ 前期の改装店・新店のオペレーション安定化に伴う収益力向上を図る

#### ④ 店舗閉鎖(前期31店舗、及び今期30店舗計画)に伴う収益改善効果

#### ⑤ 改装期間中の売上減少や新店を含めた消耗備品費その他経費の一時増加などを織込む

- 立ち上りまでの営業損失を抑制するため、改装期間の短縮を図る

#### ⑥ 新物流センターの収支安定化と外販事業の取組強化

# 13. 中期計数目標（連結ベース）

当面は、前期まで取り組んできた業務構造改革の投資回収に注力

【単位：百万円】

	29/8期 実績	構成比	30/8期 実績	構成比	31/8期 計画	構成比	32/8期 計画	構成比	33/8期 計画	構成比
売上高	63,957	100.0%	61,503	100.0%	61,530	100.0%	64,500	100.0%	65,680	100.0%
営業利益	448	0.7%	406	0.7%	805	1.3%	1,260	2.0%	1,400	2.1%
経常利益	382	0.6%	393	0.6%	820	1.3%	1,270	2.0%	1,410	2.1%
当期純利益	▲438	▲0.7%	202	0.3%	70	0.1%	400	0.6%	500	0.8%
新規出店数	14 店舗	—	19 店舗	—	15 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—
改装店数	67 店舗	—	48 店舗	—	25 店舗	—	15 店舗	—	15 店舗	—
閉店数	40 店舗	—	31 店舗	—	30 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—
期末店舗数	515 店舗	—	503 店舗	—	488 店舗	—	488 店舗	—	488 店舗	—

**【将来見通しに関する注意事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**